

同志社創立百二十五周年記念事業について

創立百二十五周年記念事業委員会

創立百二十五周年記念事業委員会は、

一九九七年十一月にまとめた「同志社創立百二十五周年記念事業基本計画」にもとづき、各学校や記念事業委員会のもとに各種の実行委員会や企画委員会等を設置して、具体的な実施について検討・準備をすすめています。昨年十一月二十九日発行の『同志社社報（臨時98—3号）』の報告にもとづきその内容をお知らせいたします。

1. 同志社創立百二十五周年記念行事について

—「記念行事実行委員会」—

「同志社人交流企画委員会」—

一九九九年一月から二〇〇〇年一月までの間を記念行事期間として計画し

ています。

(1) 同志社創立百二十五周年記念式典

二〇〇〇年十一月二十九日（水）

(2) 記念講演 — 京都 —

創立百二十五周年記念式典の前に、全国各地での記念講演を締めくくる形で行います。

目的とテーマについては、二十一世紀を迎え人類が抱えるさまざまな課題に対し精神性を語り、世界に向けて同志社から情報発信を行うこととします。講演者については、世界的に著名な人物を予定しています。

(3) 記念シンポジウム — 東京 —

目的とテーマについては、新島教育のキーワードである「自由教育」を明確に打ち出し、二〇〇〇年の一月下旬に、

同志社から日本の教育界に向けて提言を行います。

講演者・パネリストについては、二十一世紀に向けて日本の教育界のあり方について語れる人物を海外と日本からそれぞれ招くことを予定しています。

(4) 記念講演 — 地方 —

記念行事期間中、概ね月一回全国各地十地方で行います。

開催地は、福岡、松山、岡山、名古屋、金沢、新潟、仙台、札幌、神戸、大阪を予定しています。目的は、全国の同志社卒業生・関係者との交流を図るとともに、同志社の教育・研究の成果を広く社会に公開します。

(5) 聖書展

キリスト教文化センターにおいて実施

場所はNeesima Roomで二〇〇〇年

(6) 合唱祭

グリークラブ、リーダークラウンツコ
ル、混声合唱団、こまぐさ等、大学、女
子大、中学、高校の合唱団が一堂に会し
行われます。企画・運営はこれら合唱団
が行い、京都コンサートホールで二〇〇
〇年の一月中旬に実施する予定です。
(7)同志社ホームカミング・デー・ア
ンド
ウィーク

卒業生がキャンパスに集い、再会と出会いの中でノスタルジーを感じ、さらに教職員・在学生とのふれあいを通して、いっそう母校とのきずなを深めてもらう機会とすることを、目的とコンセプトにします。

●ホームカミングウイーク

二〇〇〇年一月一日（水）～二
月三日（金・祝日）

●ホームカミングデー

二〇〇〇年一月三日（金・祝日）
場所は、今出川校地を中心に実施いたします。

2. 同志社小学校（仮称）の設立について

同志社小学校（仮称）

設立構想委員会」

一九九八年四月に委員会を設置して、二十一世紀初頭の小学校開設の可能性について具体的な検討を開始いたしました。

3. 同志社教育を一層充実するため
の施設等の整備について

「北小松整備企画委員会」・「田辺校地環境整備企画委員会」・「女子大学」・「香里中学校・高等学校」――

(1)北小松校地に「キリスト教主義教育・国際交流」のための新たな施設を建設することについて

基本計画のもとに「基本設計」が作成されました。

なお、施設完成後の管理・運営方法等を検討する委員会を設置することとし、企画部と施設部に検討を依頼いたしました。

(2)同志社女子大学創立百二十五周年・新制大学設置五十周年を記念し、「コミュニニ

ティーセンタ―(大学会館)¹を建設することについて

「実施計画」も完了し、二月初旬に「起工式」を行い、二〇〇〇年夏に完成する予定です。

(3)同志社香里創立五十周年を記念しての、「新校舎」建設について

一九九八年三月に「起工式」を行い、一九九九年春に完成する予定です。

(4) 田辺校地通路周辺の環境整備について

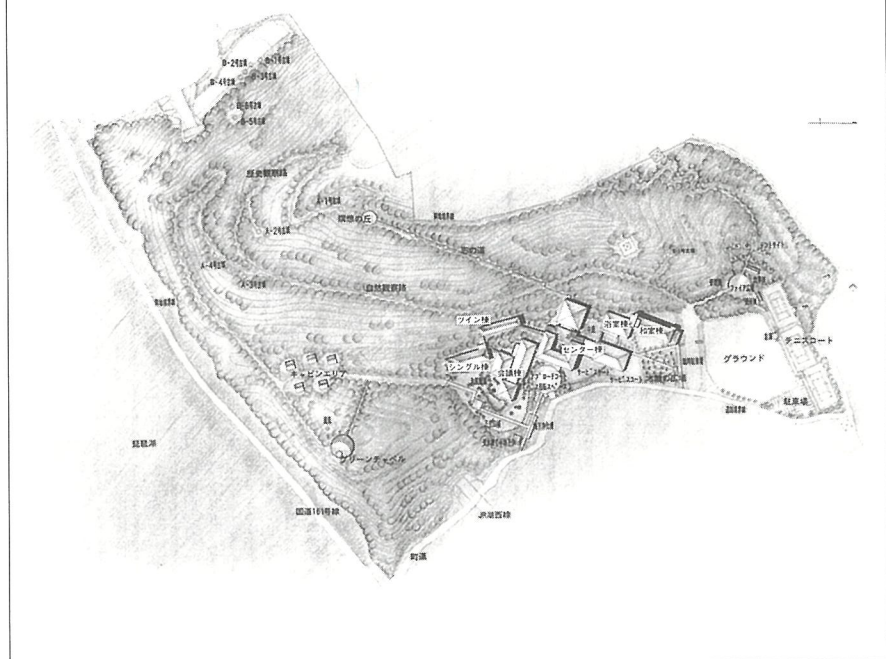
一九九八年一月中旬に答申がありました。

今後、所管部課である施設部において具体化を図り、二〇〇〇年完成を目処に着手する予定です。

(5) 今出川校地の総合的再整備のための「今出川校地整備企画委員会（仮称）」の設置について

現在、大学の扶桑館の整備、中学の施設の整備、女子中学校・高等学校と女子大学の既設校舎の整備等、各学校での計画がそれぞれ検討・実施されていますが、将来構想との関連もあり、なお各学校間の調整を行っています。

北小松校地「キリスト教主義教育・国際交流」施設（基本計画）配置計画図



4. 歴史的建造物の修復・活用について

―「大学」「女子大学」―

(1) クラーク記念館の修復について

京都府の重要文化財についての修復計画に合わせ、具体化への検討が続けています。

(2) ジェームズ館を有効に活用するための修復について

女子大学で記念事業の一環として、二〇〇一年夏に完成の予定です。

5. 社史資料の整理および『同志社百年史』以降の年表編集などについて

同志社社史資料室において、百二十五周年記念として以下の事業が計画され、一部は実施されています。

(1) 未整理資料を含め社史資料室現有資料の集中的整理作業と、『同志社百二十五周年史年表』（仮称）の編集および新島研究資料の公開を促進するため、貴重資料のデジタル化を行います。また、『同志社百

年史』未公開の記録資料を刊行する予定です。

(2)「新島襄の教育理想―現代語訳―」(仮称)を『新島襄全集』から適切な部分を抜粋して刊行します。

6. 同志社女子大学の百二十五周年記念事業について

女子大学は二〇〇一年に創立百二十五周年を、また一九九九年には新制大学に移行して五十周年を迎えます。そこで、一九九九年四月から二〇〇二年三月の三カ年を記念事業期間として、各種の記念行事を開催するとともに、学生・卒業生関連施設を充実いたします。

(1)田辺校地に「コミュニティセンター(大学会館)」を建設します。二〇〇〇年夏に完成する予定です。

(2)今出川校地の「ジェームズ館」を保存改修します。二〇〇一年夏に完成する予定です。

(3)一九九九年秋・二〇〇一年秋にホームカミングデーを開催します。

(4)二〇〇〇年・二〇〇一年に記念式典を計画、講演会・公演や展示会等を開催します。

(5)『同志社女子大学創立百二十五周年・新制女子大学五十周年記念写真集(誌)』を発刊します。

(6)「募金活動」ジェームズ館保存改修とコミュニティセンター(大学会館)建設費の一部に充てるため、募金活動を行います。(募金目標額五億円)

(7)二〇〇〇年四月開設予定の「現代社会学部社会システム学科」(修業年限四年・収容定員千六百四十人)の設置準備が順調に進められています。

7. 同志社香里中学校・高等学校の百二十五周年記念事業について

同志社香里中学校・高等学校は、二〇〇一年に創立五十周年を迎えます。そこで、一九九七年四月から二〇〇四年三月の七年間を記念事業期間として、教育施設等の整備充実を行うとともに、二〇〇一年には各種の記念行事を開催いたします。

(1)建物の新設および改修

①特別教室の空調設備、尚志館・新明誠館の特別教室等の改修工事は一九九七年夏に完成いたしました。

②有朋館(生徒食堂)拡張工事については、一九九七年夏完成いたしました。

③新校舎(五階建、普通教室、特別教室・多目的教室・ブルの設置)の建設および明誠館改修工事は、一九九九年春に完成する予定です。

④第II期工事として、第二体育館等の新設・整備について検討しています。

(2)「募金活動」①から④の事業費に充てるため、募金活動を行っています。(募金目標額八億円)

(3)『同志社香里創立五十周年記念誌』を刊行します。

(4)二〇〇一年十一月一日(土)に記念式典を計画しています。講演会・演奏会・展覧会・競技会・バザー等も実施する予定です。

(5)一九九九年四月から中学校の増学級(五クラスから六クラスとし、クラス定員を四十人とする)を実施いたします。

(6)二〇〇〇年四月には、高等学校に「国際コース」二学級を新設。その二分の一

を女子生徒として、男女共学を実施いたします。

一九九八年一月中旬に「田辺校地環境整備企画委員会」から答申がありました。

田辺校地通学路周辺の環境整備について

答申

—概要—

通学路周辺の環境整備について、J R同志社前駅から同志社キャンパスにいたる東西道路沿いに位置する校地の整備を中心に検討を行いましたので答申いたします。

なお、答申のほかに通学路の現状に関して問題点が指摘されましたので、参考までに試案を添付いたします。

田辺校地は、現在一万九千人を超える学生・生徒を擁する大規模なキャンパスとなりました。

各校ともキャンパスの中の施設・整備については整備・拡充が進められてきましたが、通学路および通学路周辺は開校以来、未整備となっております。創立百二十五周年記念事業の一環として、東西道路南北の校地を造成し、田辺キャンパ

スの玄関口にふさわしい基盤整備をすることが必要であります。

具体的には、下記の計画案のとおり、東西道路に平行して北側にある校地を通学路の高さまで造成するとともに、緑地帯を設けプラザ的なスペースとして整備すること。また、狭隘となった駐輪場も拡大し整備すること。

なお、東西道路の南側の校地は、通学路に沿って小規模な盛り土および植樹をする程度とし、西にある里道は、東につけかえることで有効かつ効率のよい土地として整備すること。

同時に、東西道路と市道に面するフラットな校地は、盛り土と植樹およびモニメントを立てる等により、キャンパスの玄関口として整備すること。

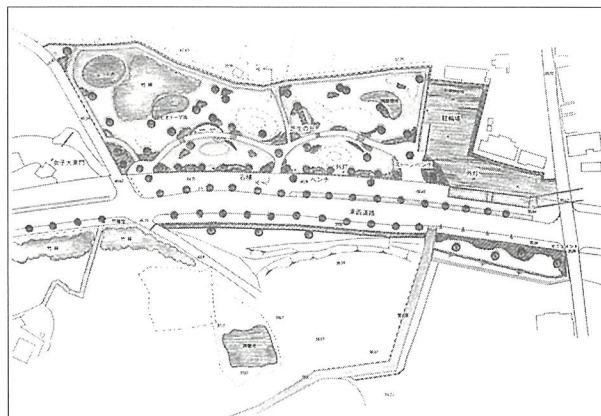
以上、具体的な基盤整備の実施計画案として答申いたします。

試案

イ・近鉄「興戸駅」から通学路の陸橋までの整備について

近鉄興戸駅の改修等を視野に入れながら「新通学路の設置」と「陸橋へのエス

カレーターの設定」を検討していく必要があります。



ロ・新島記念講堂の出入り口の整備について

できるだけ早い機会に、通学路に面した個所（東西道路と南北道路の交差点の東側）に「出入り口の設置」を検討する必要がありますと考えられます。